

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和5年5月1日発行

3月定例会
1月臨時会

No. 116



表紙の写真

ザ☆まちづくり井戸端会議を開催しました。

女性の視点から、鹿角市の「仕事」と「教育」について意見交換を行いました。

当日の様子は12ページで紹介します。

「ザ☆まちづくり井戸端会議」とは

議員と参加者のみなさんが、より自由で活発な意見交換が行えるよう、試行的に実施した取り組みです。

今回は、女性の意見を市政に反映させようと、参加者を女性に限定し開催しました。

令和5年度予算案などを可決 P 2

3会派の代表質問 P 4

一般質問には8名が登壇 P 6

各常任委員会の審査状況 P 10

ザ☆まちづくり井戸端会議を開催 P 12

第2回 令和5年度一般会計・各特別会計予算を含む議案など41件を可決 定例会 「鹿角市議会の個人情報保護に関する条例」を制定

第2回定例会

令和5年第2回定例会を2月24日から3月20日までの25日間の日程で行い、市長より議案35件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員提出議案6件についても、原案のとおり可決しました。

本定例会に提案された議案等の審議結果や議会に提出された陳情の審査結果について、一覧を次ページ以降に掲載しています。

主な議案の審議内容

鹿角広域行政組合議会議員

鹿角広域行政組合議会議員の欠員に伴い、本市議会選出議員の補欠選挙を行い、次のとおり決定しました。

湯瀬 誠喜

(指名推選)

令和5年度

鹿角市一般会計予算

〇歳入

質問 少子高齢化が進む中、今後の財政の見通しをどう捉えているか。

答弁 実質公債比率については、今後増加が見込まれる一方で、将来負担率については減少傾向で推計している。いずれも国が定める早期健全化基準値内であり、財政の健全性は維持できると試算している。

〇衛生費

質問 医師確保のために人材派遣会社に委託している業務の成果と委託料の内容は。

答弁 令和4年度の実績としては医師1名を紹介いただいた。委託料は医師を確保できた場合に支払う成功報酬としている。

〇商工費

質問 企業誘致のための訪問先はどういった分野の企業をターゲットに考えているか。

答弁 情報サービス産業などへのアプローチを考えており、首都圏での企業懇談会などに併せて訪問を考えている。

〇土木費

質問 河川台帳整備事業の内容と事業期間はどのようなものか。

答弁 市が管理する普通河川は計画高水位などが設定されていないことから、河川を適正に管理するため、河川台帳を整備する。

来年度は市が管理する全河川の平面図を作成する。断面図は1河川につき8百万円程度の費用を要するため、財政状況を鑑み、大雨被害にあった河川など

から優先して計画的に実施する。

〇教育費

質問 オンライン学習経費等の援助はどのような内容か。

答弁 経済的な理由により就学が困難と認められる世帯に対し、インターネット通信料等の援助を行う。

市内の小中学校で使っているタブレット端末を、家庭でも活用することを想定しており、それに対応するための支援を行う。

議会へ提出された陳情

令和5年第2回定例会では、陳情6件を審査しました。審査結果については、4ページに掲載しています。

議会から関係機関への意見書

2月24日及び3月20日の本会議において、議員より提出された意見書5件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

◆学校部活動の地域移行に関する意見書

◆消費者被害の防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める意見書

◆最低賃金の改善を求める意見書

◆最低賃金の改善に当たり、中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書

◆免税軽油制度の継続を求める意見書

第1回臨時会

令和5年第1回臨時会
を1月30日に行い、市
長より議案1件が上程
され、原案のとおり可
決しました。
本臨時会における議
案の審議結果は次ペー
ジに掲載しています。

主な議案の審議内容

令和4年度鹿角市一般会
計補正予算(第14号)

質問 出産・子育て応援
給付金の周知方法
と給付方法は。

答弁 出産届や妊娠届の
届出があった方に

対し、給付金制度の案
内と申請書、子育て世
帯のニーズを把握する
ためのアンケートを同
封した通知を送付す
る。

給付金はアンケート
への回答が条件とされ
ており、確認後に給付
する。

令和5年第2回定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審議結果
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第15号)	原案可決
財産の処分について	原案可決
鹿角市議会議員及び鹿角市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市議会議員及び鹿角市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決
鹿角市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決
鹿角市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
鹿角市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
鹿角市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
鹿角市百歳長寿祝金等支給条例の一部改正について	原案可決
鹿角市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
鹿角市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
鹿角市介護保険条例の一部改正について	原案可決
鹿角市印鑑条例の一部改正について	原案可決
鹿角市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決
鹿角市中滝ふるさと学舎条例の一部改正について	原案可決
鹿角市道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決
鹿角市営住宅条例の一部改正について	原案可決
鹿角市公共下水道条例の一部改正について	原案可決
鹿角市農業集落排水施設に関する条例の一部改正について	原案可決
令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第16号)	原案可決
令和4年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
令和4年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
令和4年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
令和4年度鹿角市上水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
令和4年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
令和5年度鹿角市一般会計予算	原案可決
令和5年度鹿角市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
令和5年度鹿角市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
令和5年度鹿角市介護保険事業特別会計予算	原案可決
令和5年度鹿角市上水道事業会計予算	原案可決
令和5年度鹿角市下水道事業会計予算	原案可決
令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第17号)	原案可決
令和5年度鹿角市一般会計補正予算(第1号)	原案可決

令和5年第2回定例会において審議した議案等の審議結果

◇議会提出議案	審議結果
学校部活動の地域移行に関する意見書の提出について	原案可決
鹿角市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
消費者被害の防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める意見書の提出について	原案可決
最低賃金の改善を求める意見書の提出について	原案可決
最低賃金の改善に当たり、中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書の提出について	原案可決
免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	原案可決
◇陳情	審査結果
学校部活動の地域移行に関する陳情	採択
再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情	不採択
消費者被害の防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める陳情	採択
「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情	採択
最低賃金の改善に当たり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択
免税軽油制度の継続を求める陳情	採択

令和5年第1回臨時会において審議した議案の審議結果

◇市長提出議案	審議結果
令和4年度鹿角市一般会計補正予算(第14号)	原案可決

議会中継(ライブ配信・録画配信)視聴のご案内

鹿角市議会の本会議の様子は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットからも視聴できます。本会議の様子をぜひご覧ください。

議会の本会議の日程は、「鹿角市メール配信サービス」や「市ホームページ」等で随時お知らせいたします。

市ホームページ
↓
鹿角市議会
↓
議会中継
↓
ライブ配信
↓
議会中継(外部サイト)

またはこちらのQRコードから視聴できます。



市ホームページ(鹿角市議会)から議会中継へ

(会派)

鹿真会・公明 質問時間 60分
(田村 富男 議員)

質問した項目

- 市長の公約の進捗状況について
- まちなか居住について
- 毛馬内盆踊りの保存伝承について
- 十和田小学校の水害対策について
- 市施設における喫煙室の整備について

問 浸水害などに対し、どのような対策を講じているか。

答 十和田小学校は、水防法に規定する浸水想定区域内の要配慮者利用施設に該当しており、児童の安全確保に備え、学校が作成している避難確保計画に基づき、各種災害に基いた避難訓練等を実施している。

十和田小学校は、これまで浸水被害を受けたことはないが、浸水を想定した訓練では、



十和田小学校の水害対策について

問 第一避難所の十和田市民センターへの避難や校舎3階への垂直避難を実施している。

答 統合後の十和田高校校跡地へ校舎を移転する考えはあるか。

問 建物等を所管する秋田県教育委員会からは、統合後の校舎等の具体的な利用方針は未定と伺っているが、十和田高校は秋田県が指定した浸水想定区域内にあることに加え、建築から43年が経過しており、小学校として活用する場合は大規模な改修が必要となる。

小学校の設置場所の検討は、児童数の推移や教育環境の充実について配慮した上で計画的に進めていく必要があると考えている。

問 答

世界無形文化遺産の毛馬内盆踊りの活用のため保存伝承が重要だが、どのように支援するか。毛馬内盆踊りは、ヘリテージ・ツーリズムを構成する重要なコンテンツで、世界級遺産と連携した取り組みを継続し、魅力発信の手法を検討していく。



録画配信はこちらから

代表質問

問

第7次総合計画前期基本計画に掲げた32の取組方針の概要について、その進捗状況は。



答

地域産業の成長支援について

地域産業の経営基盤

を強化するため、事業の高度化に資する設備投資や従業員の人材育成を支援している。労働生産性の向上を一層進める必要があることから、新たに財務分析に基づくKPI設定やDX導入を支援する。

答

意欲のある就労・就農支援について

多様な働き方を支援するため、「テレワーク活躍促進事業」を実施しており、今後、実際の就業を目指し取

組みを進める。

新規就農者の育成については、先進農家での研修支援や経営開始時の資金、機械・施設の導入費用を支援している。

答

次世代産業創出の取組みについて

企業誘致について、企業立地助成金など立地優遇制度をPRしている。

エネルギー産業の育成については、カーボンのニュートラルの実現に向け、「鹿角市地球温暖化対策実行計画」の策定を進め、脱炭素に向けた取組みや、電力資金の域内循環を進め、地域特性の豊富な再生可能エネルギーを活かした産業の振興を促していく。



録画配信はこちらから

(会派)

誠心会

質問時間 60分

(倉岡 誠 議員)

質問した項目

■第7次鹿角市総合計画前期基本計画の進捗状況について

(会派)

鹿山会

質問時間 60分

(黒澤 一夫 議員)

質問した項目

■健全財政による市政運営について ■JR花輪線の早期全線開通と観光産業について ■各種選挙における投票率の向上対策について ■農林業の振興について ■企業誘致、働く場の確保対策と市内医療環境充実への取組みについて ■小中学校入学時の児童生徒への学費支援交付金制度の制定について

答

問

JR花輪線の早期全線開通のため、どのような取組みを進めているか。
昨年11月にJR盛岡・秋田両支社から、今年の春ごろの復旧の見通しが発表された。1日も早い全線開通に向け引き続きJRとの連携に努めていく。



誘致企業と働く場の確保対策について

これまでの取組みの成果は。

答

若者や女性に人気の高い情報サービス産業などの誘致に向け、企業立地助成金の対象要件の拡充を行ったほか、企業誘致戦略の策定を進めている。市内企業の成長や事業継続による雇用の維持・拡大のため、企業の生産性の向上に力を入れていくほか、事業継続支援や雇用調整助成金の上乗せなどの支援を行っている。

学費支援交付金制度について

問

小・中学校へ入学する際の学用品の購入に対する支援を検討できないか。

答

経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者を対象に、学用品費や修学旅行費、学校給食費、特定の疾病にかかる医療費に対して援助を行っている。新年度からは、援助の範囲を拡充し、新たに、入学時のランドセルや制服等を購入するための新入学用品費について援助する予定としている。



録画配信はこちらから

代表質問

誠心会

代表質問

鹿山会

問 子供たちの通学時の安全確保のため、街灯を増設する考えはあるか。

答 警察や学校関係者による通学路点検の結果を踏まえ、鹿角市街灯等整備計画策定委員会において増設が審議され、必要に応じて整備する。



録画配信はこちらから

2020年度成人式について

問 新型コロナウイルスの影響で実施できなかった成人式について、他自治体のように、代替行事を開催する考えはないか。

答 交流集会は叶わなかったが、お祝いメッセージと記念品の送付により、市として

農業問題について

問 青森県平川市は、賃金や被服等の購入費を助成し、農業人材の確保を支援している。本市でも導入できないか。

答 効果が一時的であると想定され、現時点では同様の支援は考えていない。



青森県平川市が実施している「農業人材マッチング事業」のPR用チラシ。事業内容は以下のとおり。

1. 賃金に加え、就労時間40時間ごとに10,000円を交付。
2. 作業に必要な被服等の購入費の1/2を支援（上限：7,500円）

金澤 大輔 議員（鹿真会・公明）
質問時間 45分

質問した項目

- かづのパワーについて
- 鹿角市政について
- まちづくりについて
- シティプロモーションについて
- 農業問題について
- 2020年度成人式について
- 通学路の街灯整備について

問 カーボンニュートラル達成までの道筋とかづのパワーの役割は。

答 7万3千トンのCO2削減を目標としており、そのうち4万6千トンは、かづのパワーを通じて地域エネルギーへの切替えて達成したい。



録画配信はこちらから

地球温暖化対策実行計画について

質問した項目

- 市長の市政運営について
- 地球温暖化対策実行計画について
- 森林環境譲与税を利用した森林整備について
- 十和田八幡平国立公園の誘客について
- 自分の命を守る防災について
- ほか

問 カーボンニュートラルの達成で本市にどのようなメリットがあるのか。

答 地産地消のエネルギー活用による地域経済活性化や防災力と暮らしの質の向上など4つの成果目標を掲げている。

環境問題等に関心が高い企業などからも注目を集める取組みであり、人口増加や再生可能エネルギー産業の集約なども期待できる。

畜産・酪農家への支援について

問 飼料代の高騰などにより畜産・酪農家が厳しい経営を強いられ、支援は考えられないか。

答 国は、飼料代の補てん金や経営安定交付金制度により支援している。また、県は昨年からの緊急支援事業を立ち上げた。

本市ではこれまで肉用牛・乳用牛に共通した飼育支援に加え、肉用牛にはふるさと納税や消費拡大のための事業を、乳用牛には自給飼料への支援を行っている。経営安定化へのさらなる支援については、社会情勢などを注視し検討する。

問 物価高騰により影響を受けている市民生活を支援する考えはあるか。

答 各種支援策等については、国の交付金等を活用し効果的に実施していく必要がある。東北市長会を通じ対策強化に関する要望を行っている。



十和田高校の跡地利用について

問 十和田高校跡地を利用した、短大や専門学校を誘致する考えはないか。

答 高校の利活用については、所有者である秋田県教育委員会の対応方針が示されていないため、現段階で市が利活用について検討する段階ではない。

鹿角の農業について

問 スマート農業普及促進に向けた来年度の取組みは。

答 自動操舵システムを搭載した農機用

に、RTK基地局を市役所屋上に整備し、半径20キロメートルの範囲に正確な位置情報データを送信する。

また、水位の自動調整や、スマートフォン口の開閉や水位の確認ができる水管理システムの導入を支援する。

問 昨年の豪雨で被災した農地や農業用施設の復旧状況は。

答 被災規模が大きく復旧に時間を要する箇所については、仮設水路の敷設などにより対応する。

被災が小規模なものでも復旧が完了していない農地については、引き続き復旧のための支援を継続する。

質問した項目

- 鹿角の農業について
- 児童クラブについて
- 十和田高校の跡地利用について
- 物価高騰への対応について



録画配信はこちらから

湯瀬 誠喜 議員（鹿山会）

質問時間 30分

問 中学生の部活動加入の原則を撤廃し、柔軟な運用が望ましいと考えるが教育委員会の考えは。

答 来年度から部活動加入を「推奨」から「任意加入」とし、学校部活動、地域クラブ活動、その他興味のある活動を生徒が主体的に選択する。



3歳以上の保育園児等への主食提供について

問 昨年9月定例会で質問後の検討状況と見通しはどうか。

答 県内各市の状況調査や主食提供施設の視察などを行い検討した。来年度も引き続き家庭から主食を持参したくが、保護者からのニーズや保育現場などの意見を伺い、検証を重ねながら、総合的に判断していく。

たんぼこまち号のバス停新設について

問 昨年提案した、新クリニック開設に

合わせた運行ルートの変更及びバス停新設についての動きは。

答 関係機関との協議が整い、委託先バス事業者と準備を進めている。新設するバス停を経由するルートに変更となり、4月上旬の運行開始を予定している。

市職員の兼業について

問 地方公務員法で認められる市職員の兼業状況と、制度整備について市の考えは。

答 市の基準を満たす場合は兼業を認められており、今年度は消防団活動など述べ58人に営利企業等への従事を許可している。引き続き職員が地域で積極的に活動できるよう周知していく。



録画配信はこちらから

問

物価・光熱費高騰に対応するため、市内企業への経済的支援を実施する考えはあるか。

答

市単独での対策費用は計上していないが、市内事業所の状況や物価高騰等の情勢を踏まえ、国・県の動向を注視しながら検討する。



ICT教育について

問

ICT教育で見えてきた課題と得られた成果、今後の展望をどのように捉えているか。

答

昨年秋季県が実施した学習状況調査によると、市内の小中学校で学習端末をほぼ毎日利用していると回答した割合は、約68%と県平均の約38%を大きく上回っている。

思考力や判断力の向上のほか、多角的な視点の情報からの学びにより理解力の向上にもつながっている。今後

八郎太郎三湖伝説事業について

問

甲岳台展望台の整備について、今後の事業を実施しなければならぬ理由と、その費用対効果をどのように考えているか。

答

三湖伝説を生かした広域連携、広域観光を進めるための重要な素材と考え、整備に着手した。収益施設を持たないため、費用対効果を示すことは困難だが、十和田湖を望む本市唯一の展望台へのアクセス道整備は大きな意義があると考えている。

は、従来の「情報伝達型授業」から、積極的意見や考えを伝える「双方向型授業」への転換を進める。

質問した項目

- 物価・光熱費高騰への対応について
- ICT教育について
- 元気で健やかなまちづくりについて
- 災害に対する体制について
- 八郎太郎三湖伝説事業について



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問

水道水の安定供給のため、上下道の更新計画はどのように進めているか。

答

「鹿角市水道事業ビジョン」に基づき、施設の老朽度や事業への影響、緊急性や必要性などを総合的に判断し、計画的に更新を進めている。



ふるさと納税について

問

鹿角を訪れた人が利用できる「ふるさと納税自販機」を道の駅や宿泊施設に設置する考えはないか。

答

その場で返礼品を受け取れる手軽さから導入する自治体が増えているが、設置費用が高額で、返礼品も限定されるため、現在導入の予定はない。

ついて

問

小学校から職業について考えるための教育環境をどのように整備していくのか。

答

「夢探求プロジェクト」を実施し、児童・生徒が地域に根差した活動体験を通じて、将来に生きる力を育んでいる。

答

今後、地元事業所からの理解と協力を得ながら、児童・生徒の職業観や勤労観などの醸成を推進する。

電気料金に対する補助事業について

問

省エネ設備等更新支援補助金の上限額をアップすることは検討できないか。

答

これまで国の交付金を活用していたが、今後は市の単独事業となるため補助金は縮小となる。国や県の補助とも併用させて、省エネ機器更新を後押しする。



録画配信はこちらから

成田 哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分

質問した項目

- ふるさと納税について
- 電気料金に対する補助事業について
- 市営住宅について
- 鹿角3高校の統合後について
- 地域公共交通計画について
- 水道水の安定供給について
- ほか

問 市長就任から今日までの行政運営の成果と課題は何か。

答 公約として掲げた5つのビジョンについて、施策を具体化した。政治信条である対話行政により、初心を忘れず、全力で市政に取り組む。



物価高騰への対応について

問 市民の生活を守る対策が急務と考えるが市の考えは。

答 国による一元的な対応が必要であることから、東北市長会などを通じ、対策強化に関する要望を行っている。

これまで、国による「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等を活用し支援策を講じてきたが、財源を確保しながら、効果的な対策を講じる必要がある、国や県の動向を注視する。

マイナンバーカードの普及について

問 本市における交付状況と普及促進のための取組みは。

答 国の発表によると本市の2月末現在の交付枚数率は63・9%で、国の63・5%を上回っている状況を

昨年10月に交付強化期間をスタートさせ79の事業所訪問や各市民センターへの出張申請サポートのほか、平日に来庁できない方のために、休日・時間外窓口を延べ38回開設するなど、2月末現在の申請件数率は7割を超えている。
今後もしばらくサポーターを行い、さらなる普及拡大を目指していく。

質問した項目

- 市政運営について
- 物価高騰などから市民の暮らしを守る対策について
- 「デジタル田園都市国家構想」について
- デジタル化の推進体制について
- 空き家対策について

戸田 芳孝 議員 (鹿山会)
質問時間 45分



録画配信はこちらから

問 「いつでも市長室」で出された貴重な意見をどのように施策や予算に反映させていくのか。

答 実現可能性を検証しながら施策に反映させていく。来年度は農業マッチングアプリの導入や、伝統芸能の保存・育成支援などを実施する。



新年度予算について

問 人口減少対策への取組みと本市独自の出産・子育て支援への予算配分はどのようなになっているか。

答 人口構造の若返りを図るため、施策の充実を図りながら、子どもを産み育てやすい環境の構築に向け、予算を重点的に配分している。

また、来年度から市の助成金の内容を見直し、国の給付金に市が5万円を上乗せして支給する。

毛馬内地区のまちづくりについて

問 高校統合後や図書館移転後を見越して、公共施設の建設など、毛馬内地区のまちづくりを総合的に計画する時期と考えるが、市の考えは。

答 本市が、持続可能なまちであるためには、公共施設等について市域全体での最適な配置が必要となる。鹿角市公共施設等総合管理計画では、必要なサービス機能を維持しながらも施設総量の縮減を目指しながら、今後維持する施設の長寿命化を推進していく方針であり、現時点で毛馬内地区に新たに複合施設を建設する考えはない。

質問した項目

- 第7次総合計画について
- 新年度予算案について
- エネルギー価格高騰対策について
- 世界遺産の保存、伝承、観光資源としての活用方法について
- 毛馬内地区のまちづくりについて

児玉 悦朗 議員 (鹿真会・公明)
質問時間 45分



録画配信はこちらから

[議案第6号] 鹿角市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

問 鹿角市情報公開・個人情報保護審査会の委員構成は。

答 委員は優れた識見を有する者で構成することとなるが、現行の情報公開審査会の委員としては、弁護士1名、司法書士1名、主任児童委員1名、人権擁護委員1名の4名で設置している。

[議案第7号] 鹿角市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について

問 条例を制定する理由は。

答 個人情報保護法が改正されたことに伴い、市の個人情報保護条例を廃止し、新たに個人情報保護審査会の条例を制定する必要性が生じたが、既に市で設置していた情報公開審査会の役割が限定的になったため、2つの審査会を統合して設置することにした。

[議案第23号] 令和4年度鹿角市一般会計補正予算（第16号）

問 （地方交付税）普通交付税と特別交付税の今後の見込は。

答 普通交付税は今回補正した額で確定しており、特別交付税は、3月下旬に確定することから補正予算の専決処分により対応する予定。

[議案第29号] 令和5年度鹿角市一般会計予算

問 （定住促進事業）ふるさとライフ家賃等支援補助金の補助内容は。

答 賃貸住宅への入居に対し費用の2分の1を補助する。初期費用には3万円。家賃には、子育て世帯にひと月2万5,000円、若者及び単身世帯にはひと月2万円を上限に支援する。

問 （出会い応援事業・結婚サポート事業）事業での新しい取り組みや工夫した内容は。

答 市主催のイベント実施に加え、あきた結婚支援センターが導入しているマッチングアプリへの誘導により、出会いの機会を創出したい。今後はプロフィール写真の撮り方など、自身のPRの仕方についてのアドバイスなども検討したい。

問 （行政手続等デジタル化推進事業）デジタル行政推進アドバイザー業務の委託内容は。

答 委託先はプロポーザルで決定した民間事業者で、契約期間は1年。アドバイザーは常駐ではなく、オンライン会議や職員研修時に来庁し業務を行っている。

[5陳情第4号] 免税軽油制度の継続を求める陳情

「現在の燃料価格高騰時に免税の適用が除外されることはタイミングとして負担が大きく制度は継続すべき」との意見が出され、全会一致で「採択」とすべきものと決定した。

[議案第10号] 鹿角市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 園児の送迎バスに設置する「見落とし防止装置」購入に対する補助制度は。

答 事業者が送迎バスに安全装置を設置する場合には、国の補助制度を活用することができる。

[議案第15号] 鹿角市介護保険条例の一部改正について

問 介護認定審査委員の定数削減に係る認定審査業務への影響は。

答 審査件数の推移や介護保険事業計画による見通しから、新体制でも円滑に業務運営できると考えている。

[議案第16号] 鹿角市印鑑条例の一部改正について

問 条例改正によって利便性にどのような変化があるのか。

答 コンビニエンスストアなどで印鑑登録証明書を取得する際、マイナンバーカードに加え、マイナンバーカードの機能を搭載したスマートフォンを用いることができるようになる。

[議案第29号] 令和5年度鹿角市一般会計予算

問 （空き家適正管理推進事業）所有者不在物件の適正管理のための対応は。

答 それぞれの物件について、照会等を行いながら相続人や管理人を把握し、空き家の適正管理を行ってもらうように務めている。

〔議案第29号〕 令和5年度鹿角市一般会計予算

問 (新型コロナウイルス感染症対策費) 今後のワクチン接種の見通しは。

答 国からは、新年度のワクチン接種のスケジュール等が示され、引き続き自己負担なく接種できる体制となっているが、詳細については、具体的な方針を確認しながら実施する。

〔議案第30号〕 令和5年度鹿角市国民健康保険事業特別会計予算

問 ポリファーマシー対策事業の内容は。

答 複数の薬局を利用するなど、薬剤師からの適切な服薬指導を受けていない多剤服薬者等に対し、副作用による健康被害の防止と、医療費負担の軽減を目的とした通知を行う事業。

〔4陳情第15号〕 消費者被害を防止、救済するための特定商取引法の抜本的改正を求める陳情
「願意妥当と認め採択すべき」との意見が出され、全会一致で「採択」すべきものと決定した。



〔議案第19号〕 鹿角市道路占用料徴収条例の一部改正について

問 道路占用料の改定により、収入額はどの程度増加する見込みか。

答 令和4年度は698万円ほどと見込んでおり、改定により100万円程度の増加を見込んでいる。

〔議案第29号〕 令和5年度鹿角市一般会計予算

問 (森林認証推進事業) 本事業を実施するメリットは何か。

答 環境保全への基準を満たし、適切に管理されていると認証された森林から産出した木材を、森林認証材としてブランド化し提供できることとなる。

問 (EV導入推進事業) EV3台を購入し、どのような検証・分析を行うのか。

答 EVを事業者に貸与し、雪国でのEV使用の有効性を確認してもらうとともに、多くの市民から実際に走行するEVを見てもらうことで、脱炭素化への意識の向上を図りたい。

問 (観光資源ブラッシュアップ事業) 甲岳台展望台整備に係る整備内容と費用対効果は。

答 林道への砂利敷きや、車の待避所の設置を予定している。展望台は収益施設でないため効果を定量的に示すことは難しいが十和田湖と八幡平を結ぶ動線上であるため、観光消費の増加を期待している。

問 (安全安心住まいづくり事業補助金) 補助の拡充内容と、他の補助金との併用は可能か。

答 対象世帯を限定していた断熱改修について全世帯を対象にしたほか、補助上限額を10万円から20万円に増額する。国・県が実施している同様の補助金との併用も可能である。

〔4陳情第13号〕

再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情

「洋上風力発電などの事業は、民間主体で行うべきであり、市町村はそれを応援する立場となるべきと考えることから、不採択とすべき」との意見が出され、全会一致で「不採択」とすべきものと決定した。

〔5陳情第1号〕 最低賃金の改善を求める意見書の採択を求める陳情

「願意妥当と認め採択すべき」との意見と「趣旨は理解するものの、内容的に納得しかねる部分もあるため趣旨採択とすべき」との意見が出され、採決の結果「採択」すべきものと決定した。

〔5陳情第2号〕 最低賃金の改善に当たり、中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情

「願意妥当と認め採択すべき」との意見と「趣旨は理解するものの、5陳情第1号と関連する内容であるため趣旨採択とすべき」との意見が出され、採決の結果「採択」すべきものと決定した。



2月5日、鹿角市交流センターを会場に、「ザ☆まちづくり井戸端会議」を開催しました。

従来の「市民と語る会」から形を変え、より自由で活発な意見交換を目的とした試行的な取り組みです。

現在、鹿角市議会では女性議員が不在で、女性の意見を市政へ反映させることが課題の一つです。

このことから「女性の視点でまちづくり」をテーマに、女性の参加者16名に議会広報委員と議会改革検討委員会を加えた23名が4つのグループに分かれ、鹿角の

「仕事」と「教育」について意見を出し合いました。

鹿角の「仕事」については、子育て環境やリモートワークなどが充実している一方で賃金や若い人材などが不足しているとの意見が出されました。また、起業や情報発信、明るい職場づくりなどは自分たちでも取り組めるとし、行政には、教育機関の充実や後継者・移住者への支援を望む意見が出されました。

鹿角の「教育」では、学校と地域のつながりが充実しているとしながらも、将来の選択肢や通学環境の整備が課題として出され、行政に対し、通学時の安全確保や教育機関の充実を求める意見が出されました。



教育民生常任委員会派遣調査報告
(学校ICTの現状について)



学校ICTの現状を把握するため、タブレットを用いた授業の視察を十和田中学校で実施しました。

同校は、県内を牽引する先進的なICT活用が注目され、グループの事例校に指定されています。

1年生の理科、地層の授業では、地下の地層の様子を理解するためにタブレットを活用していました。各自が予想する地層の断面を着色し、四方に配置することで、視覚的な情報の整理が可能となり、理解の深化につながっていました。タブレットは各授業のほか、時間や体調の管理にも使用され、今後のさらなる活用が期待されます。

「市議会五十年を記念して
鹿角市議会のあゆみ(第二巻)」
の完成について

昨年、市制施行50年という大きな節目を迎え、この度「市議会のあゆみ(第二巻)」が完成しました。平成4年に市制施行20年を記念し発刊された「鹿角市議会20年のあゆみ」の続編となるこの議会史は、市議会の活動と市政の歩みを記録しています。

今日の鹿角市を築き上げてこられた皆様に改めて敬意を表しますとともに、この議会史が、これからのまちづくりを進める上で貴重な史料となりましたら幸いです。

(◎委員長、○副委員長)

◇議会史編さん委員会

◎田村富男 ○倉岡 誠

黒澤一夫 館花一仁

笹本真司 中山一男

栗山尚記



鹿角市議会のあゆみは、市内図書館や市民センター等でご覧いただけます。

編集後記

議会広報委員会には、ぎかいだよりの発行や広聴・広報活動の充実に加え、頂いた政策提言や意見などに基づいて、市政の課題などを取りまとめる役割があります。

特に皆さまから直接ご意見を伺う意見交換会は重要な取り組みの一つと捉えております。

本紙面上でも紹介しておりますが、2月に実施した「ザ☆まちづくり井戸端会議」には、多くの方からご参加いただきました。

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ始め、数年ぶりに何も制限のない日常に戻ることが期待されますので、意見交換の機会を積極的に設けていきたいと思っております。

(湯瀬弘充)

議会広報委員会

委員長 金澤 大輔
副委員長 成田 哲男
委員 児玉 悦朗
湯瀬 誠喜
湯瀬 弘充